

平成 29 年度第 2 回血液検査機器技術委員会議事録

1. 開催日時：平成 29 年 9 月 21 日（木）13：00～14：00
2. 開催場所：パシフィコ横浜 511 号室
3. 出席：稲葉、渡邊、増田、久保田、藤巻、新保、内藤、土屋、政元、川手、加藤、
小林、近藤、齋藤真、舟久保、中島、竹中、中山、森、岩村、三島
欠席：金子、常名、齋藤憲
4. 議題
 - 1) 報告事項
 - (1) 平成 29 年度第 1 回血液検査機器技術委員会議事録確認（資料 1）
 - (2) 学術委員長会議報告
稲葉委員長より下記について報告があった。
 - 来年度より委員も COI 開示が必要となる。
 - 技術セミナーで非会員が講師の場合は謝礼（20,000 円）に加え、新たに交通費（実費）が支給できることとなった。講師は可能な限り委員等の学会員にお願いします。
 - 2) 審議事項
 - (1) 第 7 回血液検査機器技術セミナーについて
 - ① 日 時：2017 年 9 月 23 日 14:00～16:30
 - ② 会 場：パシフィコ横浜
 - ③ テーマ：「体腔液の測定」
 - ④ 担 当：土屋委員、新保委員
事前申込：101 名

新保委員より以下の説明があり、了承した。
 - 抄録集 (P28) 記載のプログラムにある後半 15 分の休憩は設けない。
 - ベックマンコールターの演者が「三澤 理一」氏から「武山 春菜」氏へ変更となった。
 - セミナー終了後の参加者へのアンケートは WEB で行う。
 - (2) 第 8 回血液検査機器技術セミナーについて（資料 2）
 - ① テーマ：「ISO15189 に基づいた血液検査の品質保証取得後のメリット」
 - ② 担 当：政元委員、常名委員

政元委員より資料 2 に基づいて説明があり、以下の意見があった。
 - ISO 取得後はメリットばかりではないので、テーマを「ISO15189 に基づいた血液検査の品質保証と取得後の対応」とすることになった

た。

- 病院規模ごとの発表が良いのではなかとの意見がある一方、そうすると発表内容が重なる部分も多くなるとの意見もあり、審議の結果、各項目の演者が自施設だけでなく事前に病院規模別（他演者や委員）に調査をし、それをまとめて発表していただくこととなった。
- 橋倉さん（宮崎大学）には審査員の立場から発表頂く。
- 凝固の演者として下仮屋さん（三重大学）を推す意見があった。
- メーカーの立場からの発表があっても良いのではないか。
- 演者が学会員かどうかの確認が必要。
- これらの意見を踏まえ、具体的な内容については次回委員会までに担当委員を中心に検討することとなった。

斎藤憲委員より会議終了後メールにて以下の意見があった。

来年のテーマは、「ISO15189 に基づいた血液検査の品質メリット」ですが、その次の「凝固検査の品質保証」のように、「血液検査の品質保証」の方が、集客の観点で良いのではないかと思います。その理由は、ISO15189 がどこの施設でも取得できるとは限りませんので、関心を持ってない場合の集客が心配になりました。

(3) 第9回血液検査機器技術セミナーについて（資料3）

- ① テーマ：「凝固検査の品質保証」
- ② 担当：久保田委員、内藤委員

久保田委員より資料3に基づき説明があり、以下の意見があった。

- ISOに限定せず、内部精度管理、外部精度管理に関する発表を残し、エラーが出るロジックの捉え方について詳しく発表していただく方向で検討することとなった。
- 機種間差への対応についても必要ではないか。
- 特別講演も必要ではないか。
- これらの意見を踏まえ、具体的な内容については次回以降の委員会までに担当委員を中心に検討することとなった。

5. その他

稲葉委員長より次回委員会は4月6日（金）、奈良で開催予定であるとの報告があった。

岩村委員よりセミナー終了後に以下の意見があった。

抄録集の購入やプログラムを予め準備、もしくはセミナー登録の内容をコピーしていないと（コピーされていても）、どの部屋でどの技術セミナーを行っているか見分けがつきにくい様でした。学会へサインを作成・依頼するのに料金がかかるのだと思いますが、許容されるのであれば部屋の扉にA4サイズ等で、セミナー名等サインをつけるのもいいのでは、と思いました。

第7回血液検査機器技術セミナー（2017年9月23日開催）参加者 報告

事前申込	73名
当日申込	48名
演者（委員以外）	3名
委員	21名
合計	145名